

CAIシンポジウム 2023

アレルギー疾患のチーム医療～CAI・PAEの育成と融合～

令和5年2月4日

PAE薬剤師の今後の役割

すずらん調剤薬局(三重県亀山市)

小児アレルギーエデュケーター(PAE)

アレルギー疾患療養指導士(CAI)

上荷裕広

PAE薬剤師の現状

PAE薬剤師数 71名(令和4年10月1日現在)

《 現在の活動状況・施設内 》

◆病院・クリニック・薬局における患者指導や支援

- かかりつけ薬剤師としての患者支援
- 他職種との連携による患者支援
- 外来での患者指導やPAE外来による診療フォロー
- 院内他職種への指導や教育研修

PAE薬剤師の現状

《 現在の活動状況・施設外 》

- ◆学校・幼稚園・保育園における研修開催
～子ども園や放課後クラブなど関連する施設での研修
- ◆市町との連携による一般市民への講習会開催
- ◆薬剤師会や地域医療機関連携における研修会講師
- ◆薬科大学での講師 学生や卒後教育研修会
- ◆アレルギー疾患対策協議会など各種委員会への参画

薬剤師の強みと弱み

“くすり”の専門家として“くすり”に視点をおいて
アレルギー疾患に携われる

反面 “くすり”を主に視ることで患者さん自身を
見落としてしまうことがある

薬局薬剤師に求められること

◆患者のための薬局ビジョン(2015年10月策定)

- 対物業務から対人業務へのシフト
- 医療の担い手として明確に位置付け
- 地域包括ケアシステムの一員として地域の医療提供体制に貢献すること

◆薬剤使用中の患者フォローアップや医療提供施設間の 相互連携が求められる

◆チーム医療への参画、地域の保健・医療における実践的能力 やコミュニケーション能力が求められる

薬剤師業務への認識

高校生と保護者における薬剤師への認識に関する調査

高校生と保護者300名ずつインターネットによる調査

- ◆薬剤師への認識
- ◆薬剤師に必要と思われる知識、重要だと思ふ適性の程度
- ◆薬剤師に必要だと思ふコミュニケーションの程度

病院薬剤師と薬局薬剤師に分けて回答

柳奈津代、佐藤宏樹、澤田康文 医療薬学47(10)577-589(2021)

薬剤師業務への認識

● 薬局薬剤師について

「処方通りの調剤」 (高) 86.3% (保) 92.3%

「お薬手帳による併用薬確認」 (高) 76.0% (保) 91.3%

「服薬指導」 (高) 77.7% (保) 91.0%

「お薬手帳への服薬シール貼付」「副作用発現状況の確認」など

◆ 認識が低かった項目

「薬以外の健康相談」「電話フォローアップ」「疑義照会と処方提案」

「医療職への服薬情報提供」「在宅訪問関連業務」

高校生と保護者における薬剤師への認識に関する調査

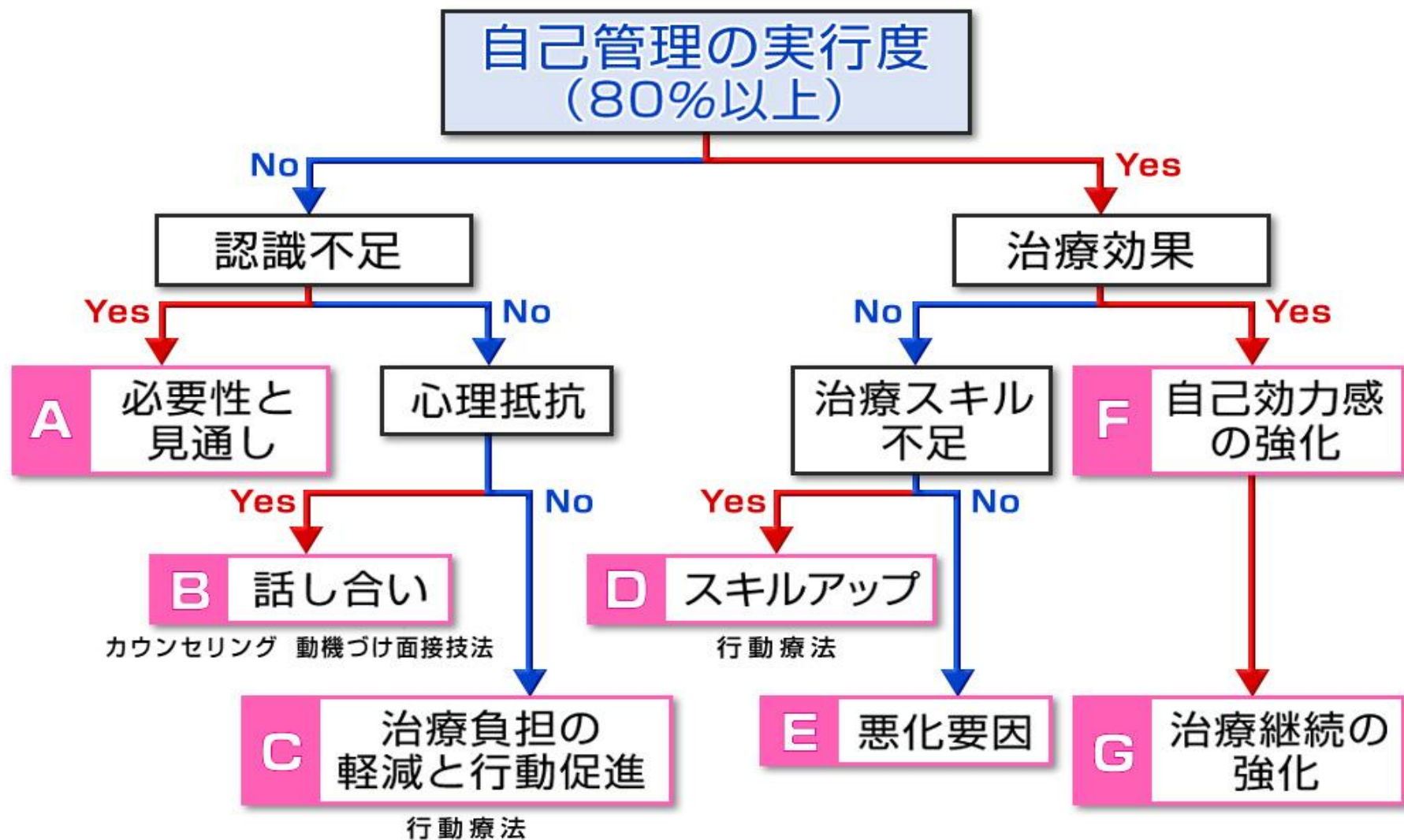
柳奈津代、佐藤宏樹、澤田康文 医療薬学47(10)577-589(2021)

PAE認定取得で得られたもの

- アレルギー疾患に関する知識
- 患者指導や支援のスキル

◆患者教育理論

アドヒアランスのアセスメントとその対応

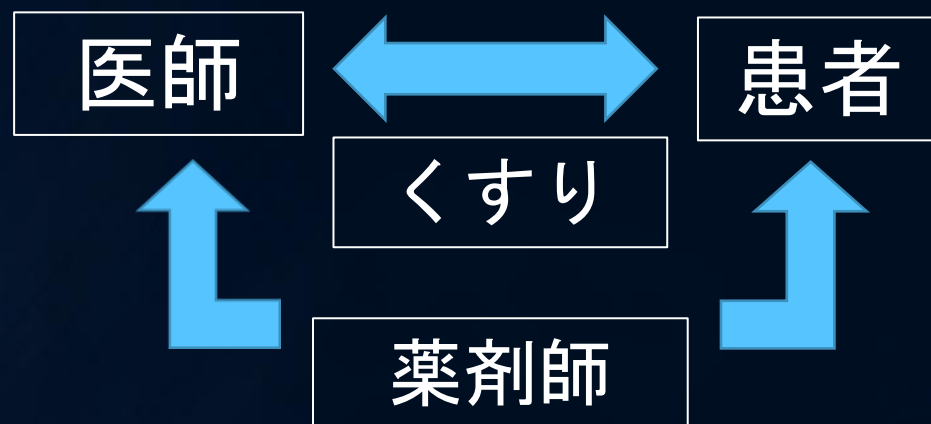


PAE認定取得で得られたもの

- アレルギー疾患に関する知識
- 患者指導や支援のスキル
 - ◆ 患者教育理論
 - ◆ カウンセリングスキルを学ぶことで患者さんの話を聴けるようになった～傾聴・共感の理解と実践
 - ◆ 行動療法を学ぶことでアドヒアランス低下の本質を見出せるようになった

PAE薬剤師の今後の役割

“くすり”のコーディネーターとしてチーム医療に参画する



介入事例を増やして
積極的に関わりを持つ

患者教育 患者支援

PAE薬剤師の今後の役割

- 患者満足度の向上に寄与する
積極的な介入

PAE薬剤師の指導や支援は診療に

おける医師の満足度を上げられるか？

- ◆ PAE外来や薬剤師外来による患者支援

PAE薬剤師の今後の役割

- 非専門医との協働でアレルギー診療の均てん化を担う
 - ⇒ PEA取得に関する規約の変更
 - ◆ 専門医が不在の地域でこそ、PAE薬剤師が活躍することで均てん化がなされるのでは？
 - ◆ CAIとの連携強化や協力体制の構築が課題

吸入支援

スキンケア指導

食物アレルギー相談

不安や悩み相談

環境整備指導

服薬支援・服薬指導

受診勧奨と紹介



カウンセリング

行動療法

患者教育理論

PAE薬剤師の今後の役割

- 薬剤師としての「やりがい」や「役立ち感」を
より多くの薬剤師に感じてもらいたい

- ◆ 薬の説明だけでは得られない達成感

- ◆ 患者さんから感謝される喜び

⇒ 薬剤師を引導する立場となる

最大の課題

PAEやCAIの患者指導が施設内において認められ、
より活動が行いやすい環境にするためには...



診療報酬による指導点数の付与

ご清聴ありがとうございました。

<最後に>

PAEとCAIが共に発展することで、より多くの
薬剤師がアレルギー疾患治療に貢献できよう
なることを心から願っております。

